

理科室からこんにちは

～ 親子で理科を楽しもう ～

平成 22 年 2 月 24 日

～ カマキリのたまご 2009 その3

「カマキリは何を手がかりに、そこにたまごをうもうと決めるのかなあ。」

「父さんは、草の茎の太さが関係しているのではないかと思ったんだけどね。」

「えっ、茎の太さ!？」

「今までたくさんのたまごを見てきたけど、うみつけれられている茎の太さって、大体同じくらいに感じているんだ。」

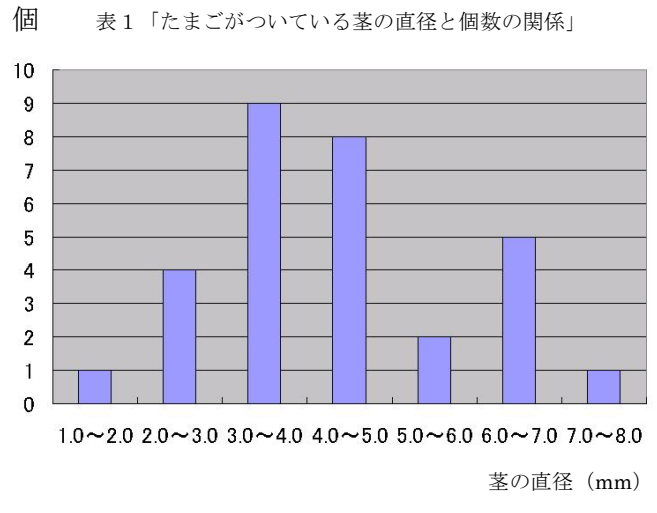
「なるほど、そうかも。すごく太い茎や、すごく細い茎にうんでいるのは見たことがないよ。」

「それでね、たまごのかたまりがついているすぐ上の茎の直径と、すぐ下の茎の直径を測ってみたんだ。」

「すごいや。さすが～。でも、たまごのかたまりは上の方から作るから、上の方の茎の太さだけが関係あると思うけど。」

「なるほど。それはいい考えだ。じゃあ、グラフを書くよ。」(表1)

「へ～、3.0～5.0mmのあたりに多くあるのがよく分かるね。」



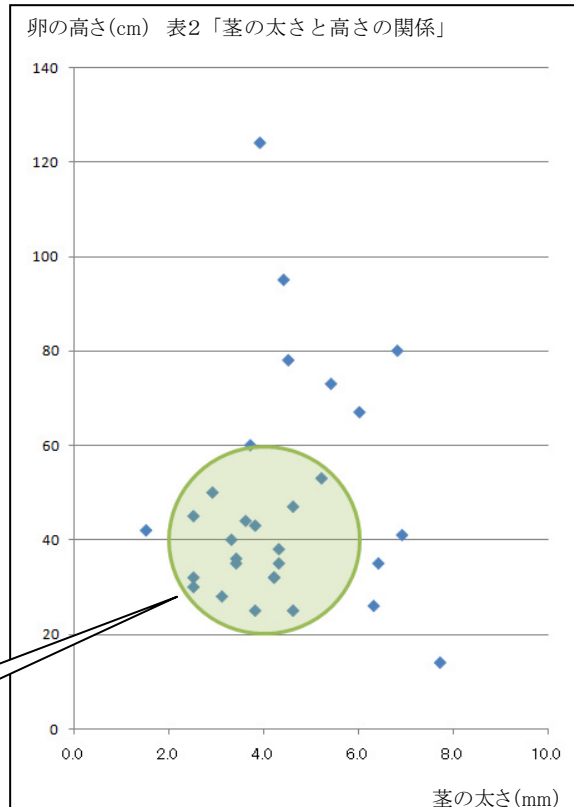
「では、高さとの関係を見てみようね。縦軸がたまごの高さで、横軸が直径だ。さてさて…。」(表2)

「う～ん、びみよ～。」

「ん～、だいたいこの辺りに多いかな、という傾向はあるけど…」

「はっきりと関係があるようには見えないね。」

「こりゃ、まだまだ観察や研究が必要みたいだね。やれやれ。」



納得のいく答えがでない二人。まだまだ野山を駆け回る研究は続きそうですね。

当のカマキリの卵たちは、雪の中で春を待ちつつ、お休み中です。

このあたりに多い？